

ボラスステ新聞

のんびりゆつくり

TASKI カフェ開店

六月二十日、東部仮設住宅にて、TASKI カフェが開店しました。お茶をしながら、ゆつくりと住民の方々と過ごしたい、そんな思いから企画されました。メニューは、パンケーキ、あんこパフェ、鈴カステラ、緑茶、コーヒー、そして、数種類ある紅茶です。また、アロママッサージも行ない、住民さんの心と体を癒すことができた時間になったのではないかと思います。



アロママッサージ

今回の活動はTASKIが主体となったもので、参加が二回目目緊張していた私は、不安がいつぱいでした。先に住民の方々の輪に入っていた子について行くような感じで、私も輪の中に入った形でしたが、一回目の活動の時よりたくさんお話できてよかったです。日常的なお話はもちろん、今の仮設の状況などお聞きしました。また、名前を覚えていたり、といたり、教えて頂いたり、とても良い時間になりました。一人ひとりが自分の色で交流していたの感じました。一回目の反省も活かしながら交流できましたし、新たな発見を、次の活動に繋げていきたいと思いました。

2015年度
第5号

発行日
二〇一五年
七月三十日

また、今回感じたことを胸に、今後TASKIが主体となる時もそうですが、積極的に交流していきたいです。

(人間心理学科一年 杉山泉美)



キッチンは大忙し



住民さんとの交流

初めてのボランティアでしたが、笑顔を忘れず取り組もうと決めていました。緊張していた私の心の救いになったのは、住民さんの笑顔です。美味しそうにあんこパフェを食べる様子や、学生たちと楽しそうに交流しているのを見て、自然と笑顔で活動することができました。

ほとんどの時間オーダーを取っており、ゆつくりと住民さんとの交流をする時間はありませんでした。しかし、短い時間でも笑顔で話を聞いてくださったり、話をしてくださったりして、この活動に参加できてよかったですと思いました。

何をしたらいいかわからず、何も出来ない時間もありました。その点を反省点として改善していきたい、住民さんたちに楽しんでもいただけるような活動をしていきたいです。

(人間心理学科一年 黒田沙弥)



編集 後記

1ヶ月以上もある長い長い大学の夏休み。どんな夏にしたいですか？思いっきり遊ぶ夏でも、目標に向かって努力する夏でも、ダラダラ過ごす夏でも、恋愛する夏でも、ボランティアに一生懸命になる夏でも、何でもありだと思います。ちなみに私は、瘦……(おっと危ない!) (表現文化3年 渋谷)